

科目名	保健・体育V Health and Physical Education V			担当教員	有馬弘智, 横山 学		
学年	5年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	1
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	14220049	単位区別	履修
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを 実践できるようにする。また、スポーツテスト等で個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはか る。						
進め方	それぞれの種目の基礎技術は下級生の時に修得しているので、ゲーム中心の内容で授業を行う。その中で各種 目の運動理論をより深く理解し、個人の基礎技術の向上、審判技術のレベル向上を目指す。また、選択制度を 取り入れ、自分の興味のある種目を選択させることで、社会体育への継続を目指す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 年間授業の概要説明および 選択種目の決定(1)  【ソフトボール・ゴルフ・バドミントン選択】 2. ゲーム(10) 3. 実技試験(1)  【スポーツテスト】 4. 記録測定(3)  5. 体育祭(3)  【サッカー・バスケットボール・ ソフトバレーボール選択】 6. 選択授業の説明、種目の決定(1) 7. ゲーム(10) 8. 実技試験(1)			年間計画を説明し、効率的にかつ安全に授業が行なえ るようになる。 F2:1-4  選択制度を取り入れることで、自分の興味のある種目 を選択し、ルールと理論をより深く理解する。また、 正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の 向上を目指す。 F2:1-4, F3:1-5  毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握 し、運動能力の向上を目指す。 F1:1-4  体育祭において、個々の運動能力を発揮するととも に、他の学生と協調しながら積極的にスポーツに取り組む 姿勢を養う。 F2:1-4, F3:1-5  選択制度を取り入れることで、自分の興味のある種目 を選択し、ルールと理論をより深く理解する。また、 正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の 向上を目指す。 F2:1-4, F3:1-5			
評価方法	各種目の実技試験と平常点（出席率、授業態度）で総合評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目	特になし						
教材	教科書「アクティブスポーツ」（総合版） 大修館書店						
備考	特になし						